



自ら輝きつつ
仲間を照らし
未来を創る
「太陽の子」

きらめく 簗木

令和6年3月18日 文責 校長 福田 啓子



第13回卒業証書授与式(3月15日)

すみ渡った青空が広がったこの日、簗木小最後の卒業生7名が巣立ちました。4年ぶりに来賓の皆様のご臨席を賜りました。その来賓の皆様からは、卒業証書を受け取った児童一人一人に温かい拍手が送られました。地域の皆様がこんなにも子供たちの卒業を祝ってくださる学校は初めてで、壇上の私も驚きと喜びでいっぱいでした。

卒業生は、返事・壇上の言葉・お別れの言葉・歌、どれをとっても自信をもって堂々と表現し、7人という数を全く感じさせませんでした。これまでいくつもの役割を7人で協力し合い支え合いながら達成してきた確かな足跡が実を結んでいました。本当に本校最後を飾る立派な卒業生であったと思います。校長からは、「何も咲かない寒い下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」という言葉を紹介し、「自分を伸ばすことを諦めず小さな努力を積み重ねてほしい。」と話しました。横道育友会長様からは、「仲間を大切に、家族を大切に、自分を大切に、時間を大切に。」という言葉いただきました。

在校生は、初めて経験する長い式にもかかわらず、最後まで集中して式に参加することができました。卒業生一人一人の名前を呼んでその頑張りを紹介する呼びかけや「大切なもの」の歌が体育館いっぱいに響きました。

卒業生が中学校でも自分らしさを発揮し、活躍してくれることを期待しています。



国スポ・全障スポ応援旗完成

今年佐賀県で開催される国スポ・全障スポを支える応援旗が完成しました。厳木小・簗木小の4～6年生が応援のメッセージを書いたりイラストを描いたりしています。どこに設置されるか分かりませんが、これを見て選手の皆さんが笑顔になってくれるといいな、と思います。

